編集・発行／白銅株式会社「新・白銅通信」編集室 〒100-8302 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル11階

新・白銅通信

Shin Hakudo Tsushin vol.1

●2017年 新年号

TOPICS

〈特集1〉新年を迎えるにあたり、白銅通信も新たな気持ちでスタートします。／新年に向けてご挨拶
〈特集2〉年越しそばは縁起物。～そばと金属の意外な関係～／「お客様の声」募集／「私と白銅」株式会社マテリアル
白銅 新商品・新サービスのご紹介「航空宇宙規格材料」／白銅からのお知らせ／編集後記

写真はイメージです

特集1

新年を迎えるにあたり、白銅通信も新たな気持ちでスタートします。

〝初日の出〟に願掛けをする習慣は、明治以降と意外に浅いという。あなたはどんな願いを込めて手を合わせますか？

一月一日の朝に昇る太陽を、特別に「初日の出」といいます。毎日繰り返される天体ショーですが、元日の朝となると、何か厳粛な気持ちになるから不思議です。初日の出を特別に崇めて祈る風習は、初日の出とともに年神様が現れると信じられているからです。年神様は新年に各家々にやってきて、その一年を守護する神様のことです。門松や松飾りは年神様を迎えるための目印として玄関先に飾り、鏡餅はお供えの意味があるそうです。玄関を清めて、門松や松飾りを置かなければ、神

←2ページへ続く

新年に向けてご挨拶

白銅株式会社
代表取締役社長
角田浩司

我々白銅は、2017年2月に創業85周年を迎えます。
変化の激しいこの業界でここまでの長い期間業務を継続できたのも、ひとえにお取引先様をはじめ白銅を支えてくださる皆様のご支援の賜物であり感謝に堪えません。

これからも白銅はモノづくりを通じて社会に貢献する企業として、従業員一同日々精進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご愛顧をよろしくお願いいたします。

◆◆◆ 白銅 新商品・新サービスのご紹介 ◆◆◆

航空宇宙規格材料

航空宇宙規格材料を国内で調達できます。
業界最大級の品揃えで、日本全国へ迅速にお届けします。

豊富な在庫ラインアップ

◆アルミ板

7050

- AMS-QQA-A-250/12 7075-T7351 PLATE
- AMS4050 7075-T7451 PLATE
- AMS-QQA-A-250/4 2024-T351 PLATE
- AMS4027 6061-T651 PLATE

◆ステンレス丸棒

- AMS5659 15-5PH ST BAR
- AMS5643 17-4PH ST BAR

安心の品質保証体制

◆JIS Q 9100（航空宇宙）を取得

白銅は2016年1月に航空宇宙産業特有の要求事項を織り込んだJIS Q 9100の認証を取得しました（神奈川工場にて）。JIS Q 9100は世界標準の品質マネジメントシステムです。

MS JAB CM023

BSK ISO
BSK0336
BSKA0256

◆安心の品質管理とトレーサビリティ

1932年創業以来の材料販売のノウハウと、最新のバーコードシステムにより小さな端材に至るまでロット管理を行っています。

★在庫にないものでもお気軽にご相談ください。海外からの輸入にも対応します。
★「航空宇宙規格材料カタログ」（2016年度版）をお送りします。
ご希望の方は最寄りのお客様センターもしくは営業担当までご連絡ください。

お申し込みは無料！

白銅株式会社
東日本お客様センター（神奈川）▶TEL：044-955-8910
西日本お客様センター（大　阪）▶TEL：06-6885-8910

白銅からのお知らせ

●年末年始休業のお知らせ

当社では2016年12月29日(木)～2017年1月4日（水）まで年末年始休暇とさせていただきます。

休業中は何かとご不便をおかけする場合もあるかと存じますが、何とぞご容赦のほどよろしくお願いいたします。

●展示会出展のお知らせ

2017年1月18日（水）～20日(金)、東京ビッグサイトにて開催される「自動車部品&加工品EXPO2017」に出展します。

2017年2月15日(水)～17日(金)、東京ビッグサイトにて開催される「3Dプリンティング2017」に出展します。

展示会にご来場ご希望の方はお気軽に営業担当、もしくはお客様センターまでご連絡ください。招待券をお渡しいたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

●お便りをお待ちしています

「新・白銅通信」では、皆様からのお便りをお待ちしています。白銅通信やカタログの感想、また白銅への叱咤・激励、ご要望など何でも結構です。同封のアンケートでお気軽にお寄せください。

編集後記

年末のお忙しい時間の中で、本誌に目を止めていただきまして誠にありがとうございます。本誌はお客様と白銅との繋がりを今まで以上に強くしたいという思いから約8年ぶりに復活いたしました。

今後ともお客様にとって有益な情報を発信してまいりますので、変わらぬご愛読をよろしくお願いいたします。（福本）

様もお迎えできないということになりますね。

さて、初日の出に話を戻しますが、初日の出を拝む習わしは比較的新しくて、明治以降に一般大衆に広まったようです。それまでは元日の朝に各家庭で静かに年神様を迎えて「四方拝」という東西南北を拝むのが一般的でした。

ところで、初日の出と同じような意味で「ご来光」というのもありますね。実は初日の出とご来光は意味が違います。初日の出は「元日の日の出」のことですが、ご来光は「高山で望む荘厳な日の出」のことで、元日に限ったものではありません。ですから、元日の朝に富士山頂で迎える日の出は、「初日の出」であり、「ご来光」でもあるのです。山頂近くの雲に映し出される自分の影が、阿弥陀如来が光の輪を背負った姿に見えることから「ご来光」と呼ばれるそうです。

一年の計は元旦にあり。しっかり目標を立て、幸先のいいスタートが切れると良いですね。

特集② 年越しそばは縁起物。

～そばと金属の意外な関係～

大晦日に縁起を担いで食べる「年越しそば」は、いつから始まったのでしょう。なぜそばなのか、その疑問をひも解いてみましょう。

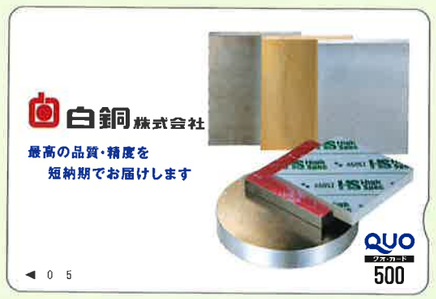
除夜の鐘を聞きながら、「年越しそば」をすする。まさに、日本の大晦日の風物詩です。いったい、年越しそばを食べる風習は、いつ頃から始まったのでしょう。それは江戸時代の中期までさかのぼるとされています。商家では月の末日に三十日蕎麦（みそかそば）を食べる習慣があり、いつしか大晦日だけに食べる年越しそばになったとされています。

それではなぜ、そばなのでしょう。まず考えられるのが、そばは細く長いことから「延命・長寿」を願ったものであるという説です。地道に人生を歩むときの比喩としてよく使われます。また、そばは他の麺類より切れやすいので、今年一年の災厄を断ち切る意味があるとも言われています。一年間で溜まった苦労や借金は持ち越したくないですものね。引っ越しそばがご近所と「細く長くお付き合いよろしく」という挨拶代わりだったように、年越しそばの場合は、家族の縁が長く続きますようにという意味があるという説もあります。

でも、白銅としては、江戸時代に金銀細工師が作業場に飛び散った金粉銀粉を集めるために、そば粉の団子を使ったからという理由をイチオシにしたいと思います。そばが金を集められる縁起物だという説は、聞くだけで何だかおめでたい気分になってしまいます。

募集中！

お客様の声 Voice…



ご意見をお寄せいただいた方には、抽選で100名様にQUOカード(500円分)をプレゼント！

『新・白銅通信』をお読みになってのご感想、今後取り上げてもらいたい記事など何でも結構です。あなたの声をお寄せください。

ご協力いただいた方には、お礼としてQUOカード500円分を抽選で100名様に進呈します。（同封のアンケート用紙をご利用ください）

当選者の発表はQUOカードの発送をもって代えさせていただきます。

私と白銅

創業以来、24年間のお付き合い。白銅さんとの取引で信用が得られました！

株式会社マテリアル　代表取締役　細貝淳一

モノづくりの夢を語る細貝社長（似顔絵は白銅角田社長）

創業時の苦難を支えてくれた恩人

白銅さんとのお付き合いは、1992年の創業の年からです。独立したものの、仕入先が見つからなくて途方に暮れていました。そんな苦境の中、角田さん（現・白銅取締役社長）が、「せっかく若くして始めたんだから、うちから材料買えるように努力してみるよ」と言ってくれました。まだ信用のない会社なのに取引してくれたということ自体が奇跡的なこと、しかも大手の白銅さんですから。仕入先がしっかりしていると私も信用されるようになり、それが会社の成長の第一歩になりました。

モノづくりへのこだわりから下町ボブスレーの誕生へ

資源の乏しい日本にとっては、技術力こそ資源だと思います。モノづくりがなくては、日本の成長は止まってしまう。他国がまねのできない、一歩も二歩もリードしている技術を突き詰めていくことが使命だと思います。

「下町ボブスレー」のソリ開発には、白銅もスポンサーに。ジャマイカチームにも採用決定。

大田区には3500社の工場があって、羽田空港というすばらしいロジスティクスを持っています。こんな恵まれた地域はありません。高い技術を誇る工場が集積しているのだから、連携して世界から受注をとれる大田区をアピールしなくてはと感じています。そこで目を付けたのが、2011年から開発に取り組んでいるボブスレーでした。

従業員の満足度が高い会社づくり

将来の目標は、永遠に継続できる会社を作ることです。従業員の幸福度をしっかり考え、残業は月平均1時間にも満たない状況にしています。できるだけ余暇にあてられる時間を作っていきたいと思います。白銅の角田さんも私も野球好きなので、野球の親善試合をしています。勝負は二の次で、スタッフみんながお互いをもっと知って、刺激し合えることが大事です。親善試合はコミュニケーションの一つの手段だと思っています。

白銅との親善野球大会

まず、炭素繊維は未来に期待できる素材であり、次にオリンピックは世界中が注目するイベントであり、そして、世界を相手に、しかも日本の大手企業が手をつけていない分野であること。その3要素を満たしたのがボブスレーでした。各分野のスペシャリストが集まり、知恵を出し合い、チーム一丸となって研究しました。目標が社会貢献につながるから、胸を張ってプレゼンテーションできるんです。

最後に、白銅さんには材料だけではなくて、モノづくり全体のハブになってもらいたいと思います。社会的に信用が厚く、コンプライアンスもしっかりした企業ですから、世界中のモノづくりに対応する商品を集めてきて、私たちとの橋渡しになってもらいたいと思います。